

マニフェスト選挙企画

大村市長選向け 公開討論会も準備

9月24日に投開票される大村市長選に向けて、大村青年会議所のメンバーが、市長を目指す人にマニフェストの提出を求め、その公約に基づく

公開討論会の開催準備を進めている。計画しているのは、同会議所の前理事長北村貴寿さん(33)ら。様々な分野の市民とともに今月中

に「ローカル・マニフェスト型 大村市まちづくり公開討論会」実行委員会を発足させる。マニフェスト応募の方は実行委発足後に決め

るが、提出期限は8月末としている。公開討論会は9月10日、シーハットおおむらで開く。公選法上の制約から、当日は「市長選に立候補する」とは言えないが、討論内

容を投票の際の判断基準にして欲しい、という。北村さんは「明示されたマニフェストを検証してこそ、市民が政治に主体的に参加する社会になる」と話している。

8/18 読売新聞

政策を基に選択を

大村市長選

来月10日に公開討論会

9月24日投開票の大村市長選へ向け、大村青年会議所の有志らが10日午後6時から、同市のシーハットおおむらで、市長を目指す人をパネリストに「ローカル・マニフェスト型まちづくり公開討論会」を開く。事前に、各パネリストに期限、財源、数値目標、工程などを明示した公約「ローカル・マニフェスト」を提出してもらい、政策論争を繰り広げる。

月24日午後7時半から、同所で。講師は市民団体「ローカル・マニフェスト推進ネットワーク」九州ブロックの神吉信之代表。

呼びかけ人の一人で同会議所前理事長の北村貴寿さん(33)は「こうした討論会は県内初。開催した地域では、投票率が上がるなど市民の政治意識が高まっている。ぜひ、たくさんの人に聞いてもらいたい」と話している。

勉強会を兼ねた討論会実行委員会の発足会議は、今

討論会、勉強会とも参加無料。詳細はホームページ

http://blog.goo.ne.jp/im-omura/ 問い合わせは北村さん(090・89619・2549)

大村市

市長選び政策吟味から

来月10日 立候補予定者が討論

任期満了に伴う大村市長選（九月十七日告示、同二十四日投票）を前に、立候補予定者をパネリストに迎えた公開討論会が九月十日午後六時から、大村市のシーハットおおむら・さくらホールで開かれる。入場無料。大村青年会議所の有志でつくる実行委が主催。

すでに立候補の意向を表明している現職の松本崇氏（68）と、元県議の野口健司氏（43）が出席予定。各候補予定者が政策の数値目標や達成期限を盛り込んだ「ローカルマニフェスト」を示し、市の未来像を話し合う。

今月二十四日には、大村青年会議所や市民団体でつくる「ローカルマニフェスト推進ネットワーク九州ブロック」の神吉信之代表を講師に招いた勉強会をシーハットおおむら・コミュニティセンターで開く。

市長選では市民団体が立候補者の公募作業を進めているが、現在のところ立候補の動きはな

大村市長選の立候補予定者

来月10日に公開討論会

任期満了に伴う大村市長選（9月17日告示、24日投票）を巡り、有権者に市長選への関心を高めてもらうと、出馬表明している候補予定者に政策を論じってもらう公開討論会が9月10日午後6時からシーハットおおむらである。入場無料。討論会は大村青年会議所の有志らが主催する。事前に候補のマニフェス

トを提出してもらい、市の将来像や財政再建、新幹線建設問題などで国会が質問し、一問一答形式で進める。公平・中立を守るため、会場内での中傷や拍手は禁止する。同市長選には今のところ、現職の松本崇市長（64）と元県議の野口健司氏（43）が立候補を表明している。

【柳瀬成一郎】

8/26 長崎新聞

【大村】任期満了に伴う大村市長選(九月十七日告示、二十四日投開票)で、立候補予定者が政策を論じ合う「ローカルマニフェスト型まちづくり公開討論会」が、九月十日午後六時から大村市幸町のシーハットおおむらで開かれる。入場無料。

大村市長選の立候補予定者

来月10日公開討論

ハット
シーハット
加するきつかけになればと企画した。多くの人が参加(22ほこ)

大村青年会議所の有志でつくる実行委が主催。立候補予定者に、数値目標や財源確保策、達成期限を明示した「ローカルマニフェスト」を事前に提出。財

進ネットワーク九州ブロック」の神吉信之代表が務める。同市長選では現職の松本崇氏(六巴)と、元県議の野口健司氏(四ミ)がそれぞれ立候補を表明。一騎打ちの公算が高まってお

と話している。討論会についてはホームページ(<http://blog.goo.ne.jp/inn-omura/>)で紹介。問い合わせは北村委員長(電0900・89919・25549)。

9/9 朝日新聞

氏2の予定候補立 討論マニフェスト

あす向け選市長村大

大村市長選の立候補予定者が討論する「ローカルマニフェスト型」大村市まちづくり公開討論会が10日午後6時から、シーハットおおむら・さくらホールで開かれる。青年会議所のメンバー

が中心になって作った実行委員会の主催。立候補を表明している現職の松本崇氏と元県議で新顔の野口健司氏から提出を受けたマニフェストをもと

に討論する。コーディネーターは、ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州の神吉信之氏が務める。神吉氏は「財源が明示

されていないなど、十分なマニフェストとは言えないが、討論会の中できちんとたす」としている。入場無料だが、カンパを募る。

9/10 読売新聞

予定の2氏きょう討論会 大村市長選

大村市長選立候補予定者
 による10日の「ローカル・
 マニフェスト型まちづくり
 公開討論会」に、すでに立
 候補の意思を明らかにして
 いる現職・松本崇氏(64)と
 元県議・野口健司氏(43)が
 出席する。同市のシーハッ
 トおおむら・さくらホール
 で、午後6時開会。

青年会議所有志らでつく
 る実行委員会の主催。ロー
 カル・マニフェストは、財
 源、数値目標、工程などを
 示した公約で、パネリスト
 となる両氏が提出した政策
 書面に基づいて討論を繰り
 広げる。進行役は、市民団
 体「ローカル・マニフェス
 ト推進ネットワーク」九州

ブロックの神吉信之代表。
 実行委の同会議所前理事
 長・北村貴寿さん(33)は

「マニフェストというには
 不十分な点もあるが、政策
 をじっくり聞き、投票の判
 断材料にしてほしい」と話
 している。入場無料だがカ
 ンパを募る。

9/12 毎日新聞

者定予 展開 候補論を

大村市長選
 公開討論会

任期満了に伴う大村市
 長選(17日告示、24日投
 開票)で、出馬表明して
 いる現職の松本崇氏(64)
 と新人で元県議の野口健
 司氏(43)による公開討論

会が10日夜、同市であつ
 た。参加した約280人
 の市民を前に、2氏が期
 限、財源、数値目標など
 を具体的に示すローカル
 ・マニフェスト型で持論
 を展開した。

氏は「民間に委ねるべき
 コンビニでの舟券発売な
 ど自由な発想が期待でき
 る」と述べた。
 また、新幹線長崎ルー
 トについて、松本氏は「積
 極的に推進したい。駅周
 辺をビジネス街にした
 い」と述べた。野口氏は
 「結論は建設促進だが、採
 算性などを論議し、市民
 の意見を組み入れたい」と
 語った。【柳瀬成一郎】

大村競艇場の再建手法

を巡り、松本氏は昨年度

黒字化した点を強調し

「大型レースの誘致に成

功し、これまで通り公営

で進める」と主張。野口

立候補予定の2氏 マニフェスト討論

大村市長選向け、あす

大村市長選の立候補予定者が討論する「ローカルマニフェスト型」大村市まちづくり公開討論会が10日午後6時から、シーハットおおむら・さくらホールで開かれる。青年会議所のメンバー

が中心になって作った実行委員会の主催。立候補を表明している現職の松本崇氏と元県議で新顔の野口健司氏から提出を受けたマニフェストをもと

に討論する。コーディネーターは、ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州の神吉信之氏が務める。神吉氏は「財源が明示

されていないなど、十分なマニフェストとは言えないが、討論会の中できちんと「ただす」としている。入場無料だが、カンパを募る。

財政・合併・競艇で討論

大村市長選
出馬予定2氏
マニフェスト基に

大村市長選に立候補を予定する2氏をパネリストとする「ローカルマニフェスト型」大村市まちづくり公開討論会が10日、大村市のシーハットおおむらで開かれた。ともに立候補を予定している現職の松本崇氏と元県議の野口健司氏が出席。事前に提出したマニフェストをもとに討論した。

財政再建や市町村合併、地場産業の育成、新幹線の是非、競艇事業のあり方など、多岐にわたる課題が取り上げられた。実行委員会の北村貴寿委員長は「アンケートには、支持する候補が変わったという回答もあった。これからは市長の通信簿をしっかりとつけた」と語った。

松本氏は「政策だけでなく性格の違いもはっきりした。勉強になった」、野口氏は「言いたいことが言えた」と感想を述べた。

政策提示し2氏白熱

大村市長選控えマニフェスト討論



考えを述べ合う松本氏(左)と野口氏

ぼう」と、大村青年会議所有志でつくる実行委員会が企画。両氏は期限や財源などを示した公約(ローカル・マニフェスト)を事前に提出、この日は進行役の「ローカル・マニフェスト推進ネットワーク」九州ブロック代表・神吉信之氏の質問に考えを述べ合った。

大村市長選(17日告示、24日投開票)を控え、県内初の「ローカル・マニフェスト型」まちづくり公開討論会が10日、同市のシーハットにおもむきで開かれた。立候補の意向を表明している現職・松本崇氏(64)と元県議・野口健司氏(43)が白熱した議論を展開、財政再建や競艇事業の進め方などで違いが浮き彫りになった。

「政策本位で政治家を選

最大の争点は、赤字再建

団体転落も懸念された財政

の再建。松本氏は第4次行

政改革による48億8000

万円の歳出削減を強調。野

口氏は「市役所大改革」を

掲げ、市長報酬20%、職員

給与総額15%以上の削減な

ど合理化策を披露した。競

艇事業では松本氏が市直営

の継続、野口氏が将来の民

営化をそれぞれ主張した。

約280人が参加、会場

でのアンケートでは「政策

が聞けて良かった」との声

のほか、「支持する政治家が

変わった」との回答も。神吉

氏は「人の政策を知り、選

択してもらう機会を持てた

のは大きい」と話した。

9/12 長崎新聞

立候補予定者が主張ぶつけ合う

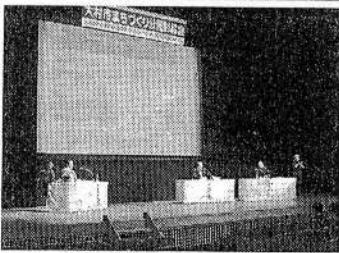
大村市長選で討論会

【大村】任期満了に伴う大村市長選(十七日告示、二十四日投開票)を前に、立候補予定者が政策を論

じ合う「ローカル・マニフェスト型まちづくり公開討論会」が九日、大村市幸町のシーハットおおむらであり、現職の松本崇氏(六四)と元県議の野口健司氏(四三)が主張をぶつけ合った。写真。

大村青年会議所の有志でつくる実行委が主催。立候補予定者が数値目標や財源、達成期限を明示した「ローカル・マニフェスト」を提示し、財政健全化や地域活性化策など同市の将来像を描いてもらう狙い。

市民団体「ローカル・マニフェスト推進ネットワーク九州ブロック」の神吉信之代表がコーディネーターを務め、松本、野口両氏が財政健全化の方策や市の長期構想につ



いて持論を展開。市民約二百八十人が参加した。財政問題で松本氏が「事務事業の選択と集中」で、五年間で四十八億円で行革を断行する。財政再建団体には「しない」と主張したのに対し、野口氏は「大村市はまだ真の行革はできていない。自己改革し、自立する市役所像を目指す」となどと反論した。

大村競艇の再建に関して松本氏は「黒字転換を果たし、今後も市が主体的に運営する。場外舟券売り場を充実させ、総合レジャー施設にしたい」と述べた。野口氏は「業務の民間委託を実現したい。コスト面も経営的な発想も民間にやうした方がうまくいく」と指摘した。

財政再建

競艇事業

